「第28回 風車の書画展」出品規約

●会　期　2027年2月26日（金）～3月3日（水）

●会　場　上野の森美術館（東京・上野）

●作品規定　以下の規定を厳守して下さい。規定外作品は審査の対象になりません。

絵画…額装外寸　　140cm×　　180cm以内（縦横自由）
　　掛軸外寸（幅）100cm×（高さ）230cm以内
書道…額装外寸　　100cm×　　180cm以内（縦横自由）
　　掛軸外寸（幅）100cm×（高さ）230cm以内
　　※絵画・書道共に色紙大（24cm×27cm）以上。（篆刻の作品の場合はお問い合わせください）
　　それ以下の大きさは審査の対象になりません。

●出品点数　一人２点まで（各部門一人２点まで可。両部門に出品される方は、各部門１点ずつとなります）

●作品搬入　作品搬入受付日　2027年1月18日（月）、1月19日（火）（着日指定）
※直接搬入する場合 10：00～16：00受付
※搬入作品は、額装あるいは軸装でお願い致します。
（すぐ展示できるように、壁掛け用金具とひもを必ず装着すること。床に立てる様式は不可）
（ガラス板付きの額は破損の恐れがありますので、画面保護をなさる場合はアクリル板をご使用下さい）
※**「書の部」の色紙（24cm×27cm）**で出品される場合に限り、軸装・額装をしないで色紙のままご搬入下さい。
入選作品は当協会において額装・展示致します。
※作品に対しては充分配慮して取り扱いますが、不慮の事故についてはその責を負いません。
※作品搬入先（ハート・アンド・アート）までの送料は、各自でご負担下さい。

●出品票　作品裏面左上に、必ず「出品票」を貼り付けて下さい。
万が一出品票が貼付されていない場合、審査・展示することができません。
※出品票は、必ず上下ともご記入下さい。
特に、返却住所欄が空欄の場合、作品をお返し出来なくなりますのでご注意下さい。
※団体での作品搬入も受け付け致します。
その場合には、必ず個別の出品票に加えて別紙「団体出品一覧表」をご同封願います。

●出品料
一人（２点まで）3,500円（出品作品の返送料を含みます。）
上記金額を2027年1月19日（火）までに下記銀行口座にお振込み下さい。
振込名義は出品票に記入されたものと同一名義でお願い致します。
ご入金が確認されない場合、入選作品であっても展示できません。

三菱UFJ銀行　虎ノ門中央支店　口座番号（普通）1116291　（口座名義）世界芸術文化振興協会

●展　示　出品作品は、審査のうえ入選以上の作品を展示致します。

●作品返送　出品作品は当書画展終了後、返却いたします。

審査結果の発表について

●審査結果は2027年2月中旬、ホームページ（https://www.ifac.or.jp）にて発表いたします。

●グランプリ賞・特別賞
※全出品作品（特別会友出品作品を含む）より審査を行い、最高賞であるグランプリ賞を美術・書の両部門で各1点選出します。
※「特別会友」の美術・書作品それぞれから最優秀作品各１点を特別賞とします。ただし、グランプリ賞と重複する場合受賞はありません。
※グランプリ賞および特別賞は、それぞれの賞に該当する評価を得た作品がないときは選出されません。

●風車特別会友
※過去受賞経歴の輝かしい方を推挙し、出品作を無鑑査として招待いたします。
※特別会友は、「特賞の受賞回数が多い方」と「グランプリ受賞者で、作品レベルが常に高い方」の中から、審査員が推薦する方を、当会で認定いたします。
※出品料は従来通りお支払い頂きます。
※特別会友認定後、不出品が一度でもあると、その時点で資格は消失いたします。

【作品搬入先】
〒134-0086 東京都江戸川区臨海町3-6-4
ヒューリック葛西臨海ビル 507
株式会社ハート・アンド・アート（H&A）
「第28回 風車の書画展」作品公募係 宛
TEL.03（6457）0961　FAX.03（6457）0962

【お問い合わせ先】
NPO法人 世界芸術文化振興協会
TEL.03（5336）3507　FAX.03（5336）3509

◆個人情報のお取扱いについて：
当書画展に応募頂いた方の個人情報は、審査結果一覧・入選者名簿・展示作品のキャプション・会報誌・ホームページなどでの掲載、出品者との連絡、作品の返却、賞状などの発送、審査結果などの通知と当書画展の開催、広報、次回展のご案内など当書画展の遂行に必要な場合に使用させていただきます。入選作品の取り扱いも同様とします。出品に際しては予めご同意ください。
お預かりしました個人情報を本人の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。（法令などにより開示を求められた場合を除く）
また、業務委託する場合は、委託先に対し適切な監督を行います。
※本文の内容は著作権法で保護されていますので、内容の一部もしくは全部を「NPO法人 世界芸術文化振興協会」に無断で転用・複写することを禁じます。

第28回 「風車の書画展」

作品公募のお知らせ



入選作品は、2027年2月26日（金）から3月3日（水）まで、上野の森美術館（東京・上野）で展示されます。
一人２点まで出品できます。（書か絵画の部に各２点、または書・絵画の部に各1点）一人でも多くの方の出品をお待ちしております。

主催：NPO法人 世界芸術文化振興協会（IFAC）

「琵琶湖から見る秋の実りの伊吹山」アクリル　画：深見東州

第28回
「風車の書画展」
作品公募のお知らせ

今年で第28回目を迎える「風車の書画展」は、芸術の楽しさ、素晴らしさを体験したいという方なら、どなたでも参加できます。出品者は主婦、学生、サラリーマンと様々です。

「絵画の部」に出品したTさん、平成20年生まれの８歳（出品当時）は、「銅賞」を受賞。「書の部」に出品した昭和13年生まれ（出品当時80歳）のIさんは、「特賞」に入選しました。

このように、当展には幅広い層の方々が毎回応募されます。そして、年齢やこれまでの経歴、経験などに関係なく、公平な審査が行われます。だから、どなたにも入選のチャンスがあるのです。

（※入選作品はすべて、上野の森美術館に展示されます。）

当展は、一人で２点までの出品ができます。書か絵画の部に各２点、または書・絵画の部に各１点です。ご自身の出品に加え、友人や家族にもご紹介頂きたく存じます。一人でも、多くの方々の出品をお待ちしております。



第18回「風車の書画展」開幕式のテープカットの様子　（左より）宇野義行審査員【絵画】、福島輝子審査員【書】、加藤東陽審査委員長【書】、半田晴久会長、荒川明照審査委員長（当時）【絵画】、松下友紀審査員（当時）【絵画】、武田史子審査員【絵画】

● 無料で、審査の先生方の「講評」が受けられる…！

また、入選された方は全員、展覧会初日の開幕式終了後に行われる「講評会」で、展示されている自分の作品の講評（選考基準の説明を含む）が受けられます。（※事前予約が必要です）

この講評会は、審査に当たられた先生方が、さまざまな作品を、個々に講評をされます。入選された方、選外になった方を問わず、今後の作品制作のための「ヒント」が、いろいろ得られます。


勅使河原先生による講評会


福島先生による講評会


関先生による講評会


清水先生による講評会


武田先生による講評会


加藤先生による講評会


宇野先生による講評会

● さらに、審査員のアドバイスを、ホームページにて配信予定です！

また、当協会では、「どうしたら入選できるのか」「もう一ランク上の賞をとるためには、どこに気を付けたら良いか」等の、審査員のアドバイスを無料動画配信する予定です。

（これは、作品審査時に、審査員からコメントを頂き、編集したものです。）

★この動画は、審査結果発表後、ＩＦＡＣのホームページ（https://www.ifac.or.jp）でご覧頂けます。ぜひ、今後の参考にして下さい。


【絵画の部】審査の様子


【書の部】審査の様子



「風車の書画展」に寄せられたアンケートより

来場者から 寄せられた声



私もチャレンジしてみたい！

ほぼ毎年、観に来ておりますが、一般のどの展覧会よりも、一番素晴らしいと感じております。いたるところに、沢山の絵や書が飾られていて、その作品にとても感激いたしました。私は絵も書も、全くと言っていいほど経験がありません。しかし、この展覧会を見て、チャレンジしてみたいと思いました。

（48歳 女性）

創作意欲がわいてきました！

とても素敵な作品を観て、私もがんばろう！ と創作意欲がわきました。賞をとられた方の作品は、どれもひねりのあるものや、ひと味も二味も工夫をこらしてあり、常識から飛び出た面白いものも多く、日頃の生活を忘れさせてくれました。（30歳 女性）

息吹を感じる展覧会！

初めて会場に来ました。皆様の作品は、毎年映像で拝見しておりましたが、やはり本物に直に触れ、息吹を感じると感動も大きいですね。半田会長の、素晴らしい作品に出会えたことも幸運でした。皆様の、１年間のご精進に頭が下がりました。

（46歳 女性）

気持ちが明るくなりました！

ユニークな作品など、たくさんあり面白かったです。色彩も、カラフルなものが多く、その色鮮やかさに目を奪われ、気持ちが明るくなりました。

（31歳 女性）

開幕式の言葉や講評会が勉強になります！

今回で10回目の出品になりますが、開幕式の言葉、講評会のアドバイスは勉強になり、毎年楽しみにしています。活かされる場を作ってくださり、感謝しております。（46歳 男性）

誰でも参加できる！

書と絵画、色のあるなし、文字か絵か、そんなこだわりをなくして観ることができました。芸術は好きか嫌いか、美しいか美しくないか、そんな思いで観ても楽しいと思いました。肩に力を入れず、製作者として、また鑑賞者として誰でも参加できる良さを、本展から再認識しました。（52歳 女性）

楽しいのは観るより描く方ですね！

来年はぜひ応募したいです！ 楽しいのは、観るより描く方ですね。

（55歳 女性）







半田会長（深見東州先生）

みとれてしまいました！

「誰でも応募できるという公募は珍しい」と、開幕式の挨拶で言われ、素晴らしいことだと思いました。力作から、かわいい少女が描いた作品まで、目を凝らして見せていただきました。特に、深見東州さんの「富士と天女の羽衣」の作品の前では、しばし立ち止まってみとれてしまいました。富士の迫力と、天女羽衣の何ともいえない色づかいが、とてもきれいでした。

（63歳 女性）

充実した幸せな時を過ごせました！

発想の自由さ、のびのびした構図と色づかいの華やかさ、全ての作品に温かい作者の目と心が感じられ、感動しました。充実した幸せな時を過ごせました。（62歳 女性）

おもちゃ箱の中身のようにキラキラしている！

様々な方の色々な作品が、あたかも子供のおもちゃ箱のように、キラキラしていました。それで、とっても楽しくなりました。しかも、その中に息子の絵があるのを見て、「息子に負けていられない。来年に向けて、私もがんばろう」と前向きに思いました。（52歳 女性）

こんな大きなところに展示されてうれしい！

自分の書の作品が展示されてあり、うれしくて、とうとう会社を休んで東京、上野まで来てしまいました。こんな大きなところに、展示されてるとうれしくなります。（44歳 男性）

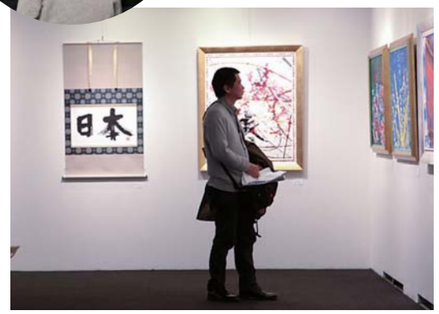
ポスターに誘われて！

「空飛ぶ赤い帽子」のポスターに誘われて、伺いました。素晴らしい作品ですね。「今日の上野は、この書画展だけで充分だね！」と、妻と話しています。ありがとうございます！

（72歳 男性）











しがらみや位置に関係なく、選んで頂ける展覧会は他にはありません。

この書画展のように、しがらみや位置に関係なく、手作りの額でも作品がよければ、選んで頂ける展覧会は、あって欲しいものですが、他にはありません。上野の森美術館のようなところに、飾って頂けるのも感激です。他の書や絵をかいてる友人にも、思わず宣伝していました。もっと早くに、出せばよかった！と強く思っています。（59歳 女性）

このような展覧会に、無料で入れることも、とても嬉しいです！

たくさんの趣旨の絵、種類の絵をたくさん見れて、また絵だけでなく書もあって、非常に楽しめました。中には、一般の方とは思えない、センスを持ってる作品もあり、驚きました。

このような、有意義な時間をすごせる展示会に、無料で入れるということも、とても嬉しいことです。ぜひ、次回も来させて頂きたいです。（24歳 女性）

